

市民活動団体

応援コーナー

このコーナーは、毎月1日号で、市内で活動する皆さんの主催するイベントや会員募集を紹介するものです。

掲載申込みの詳細は、市ホームページをご覧ください。

☎広報広聴課 ☎983・2620

三島市 市民活動団体応援 検索

9月1日号への掲載の申込みは、7月24日(水)までに、広報広聴課
☎kouhou@city.mishima.shizuoka.jp、FAX 983・2719

子育て・教育

自閉症・発達障がい、障がい支援について学ぶおめめどう勉強会

☎8月25日(日)午前10時～午後3時30分 ☎商工会議所TMOホール(株)おめめどう奥平綾子さんと大西俊介さんによる講演「障がいとは」ほか ☎3,000円 ☎100人 ☎8月15日(木)までにみしま子育てを学ぶ会@ROOM・大内 ☎ FAX 982・0622 ☎mishima_room@yahoo.co.jp

文化

たけはら吹奏楽団

第17回定期演奏会のお知らせ

☎7月21日(日)開場：午後1時、開演：午後1時30分 ☎長泉町文化センターホール(株)オペラ座の怪人、山口百恵メドレー、ホルスト第一組曲ほか ☎無料 ☎たけはら吹奏楽団事務局・吉田 ☎090・8959・9093

アンサンブル・エシュテ・ファミリーコンサート

☎7月28日(日)開場：午後1時、開演：午後1時30分 ☎市民文化会館大ホール(株)オーケストラによるベートーヴェンの運命などの有名曲を中心としたファミリーコンサート。ソロ：豊永美恵、伝田

正秀、パラティヌス・フェレンツ※未就学児の入場可 ☎無料 ☎先着1,200人 ☎アンサンブル・エシュテ ☎ensemble.este@gmail.com

「街かど 大正琴コンサート」
電気大正琴で奏でる懐かしいメロディー歌って楽しめるコンサートです ☎8月24日(出)午後1時～2時30分 ☎Via701ホール ☎500円(ドリンク、歌集付き) ☎先着100人 ☎☎間神田 ☎080・2621・4831

スポーツ・健康

第15回三島市民ボウリング大会参加者募集

☎7月21日(日)午前9時30分～午後1時 ☎ジョイランドボウルみしま(梅名) ☎参加費2,000円 ※別途貸し靴代300円 ☎市内および近隣在住・在勤・在学の人 ☎先着80人 ☎7月13日(出)までに三島市体育協会 ☎960・6111、960・9780 または、ジョイランドボウルみしま ☎982・0707

初心者弓道教室生徒募集

☎7月31日～11月13日(毎週水曜日) 全15回 午後7時～9時 ☎市民体育館弓道場 ☎5,000円 ☎18歳以上の人 ☎7月24日(出)までに往復はがきに住所、氏名、生年月日、電話番号を記入し、奈良信一 ☎411・0842 南町8・23 ☎奈良 ☎973・4677

ちびっこ冒険学校

☎8月6日(火)、7日(水) ☎陽山梨県西湖キャンプ ☎富士山ろくの自然の中でキャンプとハイキング ☎9,500円 ☎小学1～6年

生 ☎シユラフなどキャンプに必要なもの ※別途説明会有り ☎☎☎ハイキングセミナー SUN・竹端 ☎0558・83・4512

一輪車教室参加者募集

一輪車チャレンジしませんか

体験・見学随時受付中。都合の合う曜日・時間帯で参加できます ☎週3回(木曜・土曜・日曜日) ※時間など詳細は <http://www.ucshootingstar.com> ☎西小学校体育館 ☎月1,000円(+初回のみ保険料) ☎年齢性別問わず ※小学生以下保護者同伴 ☎一輪車※貸出有り ☎☎小山 ☎080・9703・4121(午後8時以降)、ucshootingstar@yahoo.co.jp

三島市五十雀山歩会会員募集

☎毎月1回(月末の日曜日) 午前8時～午後5時 ☎静岡岡・山梨・神奈川県野山を3～5時間歩き、森林浴と景観を楽しみ草花を愛でる。初・中・上級のコースあり ☎年間費2,000円、参加費2,500円から ☎成年男女 ☎☎大村 ☎981・4766

その他

ボーイスカウト三島第5団

スカウト(男女)募集中!

ボーイスカウトは青少年が将来「自律できる社会人」になるための楽しい教育活動です。専門の研修を受けたボランティアが指導します。見学・体験参加も随時受付 ☎週末を利用した月2回程度 ☎間眠神社を中心に活動 ☎6～25歳までの男女 ☎鈴木 ☎090・7439・2325 ※詳細はボーイスカウト三島第5団ホームページ



▲白のビブスが活動の目印です

花が好きだから続けられる
7年前に発足した「花サポーターみしま」は、中心市街地の花飾りの製作・維持管理を行うボランティアグループです。
家や地域でも花壇作りや寄せ植えに親しむ花好きなメンバーたちが週に1回、楽しみながら活動しています。
大切にしていくのは、街を美しく見せる統一感のある管理。今は夏らしく咲き誇るピンクと白のペチュニアが見ごろとなっています。また、会員それぞれが工夫を凝らしたハンギングバスケットにも注目してもらえれば嬉しいです。



シビックプライドとは…まちに誇りや愛着を持ち、主体的にまちづくりに関わること。当事者意識の高い市民がこのまちの主役です。

歴々の小箱

No.374

なんのため？
戦前に作られた
衣服のミニチュア

郷土資料館では、「バック・トゥ・ザ・ミシママチ」と題して、館蔵資料を通じて江戸時代〜近代にかけての三島の歴史や文化を紹介する展示を行っています。今回は展示品の中から、かわいい洋服を紹介します。郷土資料館では三島の歴史や文化、生活などに関する資料を収集しており、収藏品の大半は市民のみならずから寄贈を受けた資料です。古文書をはじめ、古い農器具や大工道具など仕事に関する道具、日用品、美術工芸品などさまざまな資料がありますが、その中には「これは何に使うのだろうか？」と一見不思議なものもあります。

うなものではありません。凝ったデザインや装飾が施され、サイズさえ合えば大人が着ても問題ない出来栄です。



▲ギザギザ模様の服、着丈は17cm という小ささ



▲ワンピースなどのミニチュア

実はこれ、誰かが着るためのものではなく、「裁縫雛形」と呼ばれるもので、裁縫の練習のために作られたものです。明治十三年（一八八〇）の改正教育令で女子学生には裁縫と「家事経済」（家計管理）が課されたように、戦前の女子教育ではいわゆる良妻賢母教育に主眼が置かれていました。女学校で

は裁縫の授業に多くの時間が割かれたほか、各地に洋裁・和裁を専門的に教育する裁縫女学校が設立されました。

女子学生たちが洋裁・和裁の技術を身に着けるためには、在学中の限られた時間の中でたくさんの衣服を縫い上げる必要があります。

そこで考案されたのが「裁縫雛形」です。デザインや作り方、使用する素材はそのままに、サイズだけを縮小して制作することで、制作時間が大幅に短縮され布地も節約できます。この「裁縫雛形」は、現在の東京家政大学の校祖・渡邊辰五郎によって明治時代半ばに考案され、その後全国に広まりました。

少女たちが丁寧に縫い上げた裁縫雛形は、女子教育の歴史や洋装の普及など、日本の近代史を知るうえでも貴重な歴史資料です。

館蔵資料から三島の江戸時代〜近代を紹介する「バック・トゥ・ザ・ミシママチ！」は、九月一日(日)まで開催しています。（会期中、作品保護のため展示品を変更する場合があります）

わたしのおばあちゃん

当番 うさがわ かれんさん

私のおばあちゃんは、何でもできてすごくやさしい人です。
私は、いつもおばあちゃんをけいちゃんと言っています。夜ごはんはけいちゃんと言っています。けいちゃんを作ってくれる料理で一番好きなのは、カレーライスとからあげです。
私もけいちゃんのように、やさしくておいしい料理が作れる大人になりたいです。
そして、私が大人になったら、けいちゃんを温泉につれて行ってあげたいです。



細井 恵子 (60才)
宇佐川 花恋 (錦町5区)